

『FA・ロボット 連続Webセミナー』開催の背景

当工業会では、今年度より6つのプロジェクトをスタートさせました。

国・地方公共団体、金融機関、大学等の研究機関とも連携し、当会会員企業が有する高度で多様な技術、パワーを結集して地域の課題に取り組むことを通じ、社会貢献を推進していきます。

『省力化プロジェクト』の1プログラムであるこの連続Webセミナーは、若年就労者の減少などにより人手不足が深刻になっている製造現場のニーズに応えるため、会員企業において導入実績があり、その後の適切なフォローも確認されているメーカー等に協力を呼びかけ、開催するものです。

	株式会社タワシテック、 株式会社デンソーウェーブ	三菱電機株式会社	ファナック株式会社
開催日時/ 配信方法	令和4年 1月20日 (木) 午後1時30分から約1時間	令和4年 1月25日 (火) 午後1時30分から約1時間	令和4年 2月1日 (火) 午後1時30分から約1時間
	ZOOM	Teams	Webex
テーマ	「技術動向、Slerの役割」	シーケンサ連携、 モデルレスピッキング等のご紹介	「見える化ソフトウェア、 オープンプラットフォーム」
概要	・社内リソースを活用した内製化へ向けたロボット導入支援 ・導入後のフォローの重要性	既にロボットを導入している現場にもインパクトのある事例や最新のメリットをご説明	生産機器の稼働管理や、見える化を進めるソフトウェア、オープンプラットフォームをご説明
説明項目	<p>ロボットの最新技術動向 産業用ロボットの開発メーカーであり、ユーザー・Sierでもあるデンソーウェーブが、生産現場の実例に沿ったロボットをご紹介します。</p> <p>・デンソーウェーブのロボットラインナップとサービスのご紹介</p> <p>ロボット導入の考え方とSlerの役割について 産業用ロボットのSler、特別安全教育、操作教育講師であるタワシテックが内製化に向けた産業用ロボットの導入とSierとの関り方について、導入事例や講習事例を基にご紹介します。</p> <p>* 県内企業事例 ワークの仕様をわずかに変更したため、1年前に購入したロボットがそのままでは使用できないことになってしまった。 購入した商社に相談したが対応してもらえなかったため、タワシテックに相談があった。プログラムの再作成と作業員の再教育、トレーニング実施によってロボットが使用できるようになっただけでなく、ロボットシステムを自社で改善できるようになったことから、更にロボットシステム数台を導入し、生産効率を向上させた。</p>	<p>ロボットとシーケンサの連携</p> <p>・ロボットの干渉回避 ・タッチパネル活用によるロボットモニタ、ティーチングの実現</p> <p>・三菱電機ロボットラインナップのご紹介</p> <p>ロボットソリューション</p> <p>・力覚センサによりロボットの嵌合が実現 ・3次元ビジョンセンサによるモデルレスピッキングの実現 ・Smart Plus オプションによるキャリブレーション作業の効率化</p> <p>人協働ロボットASSISTA</p> <p>導入事例紹介</p> <p>・ネジ締め・リモート監視 ・3次元ビジョンセンサと力覚センサによる組立・検査 ・ビジョンセンサと協働動作によるケーブル装着システム ・コンベアトラッキングアプリケーション ・三菱CNCと知能化ロボットによる工作機械ローディングアプリケーション ・バリ取り・研磨アプリケーション</p>	<p>MT-LINKi 工場内の各種機械をイーサネットで接続し、CNC状態信号や加工部品数、ロボットコントローラのホールド信号など必要な情報の収集管理を行い、情報の見える化を行うことができるPCソフトウェア。</p> <p>・日常業務の手間を短縮 日報、月報を簡単に作成 ・リモートで稼働監視 離れていてもアラーム ・稼働実績の分析 信号履歴はCSVで出力可能</p> <p>FIELD system 製造業向けのオープンプラットフォーム。 製造現場の様々な機器が世代やメーカーの壁を超えて接続可能で、サードパーティの開発者もアプリケーションやデバイス用コンバータの開発・販売が可能。 ・工場の稼働分析や生産性向上のためのアプリケーション、生産機器の予期せぬダウンタイムを削減するためのアプリケーションを装備 ・サーバ、ネットワーク、FIELD system すべての階層にセキュリティ対策技術が盛り込まれた多層防御で構成</p>